第壱号議案

平成 25 年度　千葉県自閉症協会活動報告

全般的活動（会長：大屋）

1. 千葉県における自閉症、発達障害の人たちを代表する団体として活動しました。
   千葉県自閉症協会を構成する 17 市・地区自閉症協会に所属している会員総数は、26 年 4 月 1 日時点で９１０名です。
2. 自閉症児者の教育、福祉、就労などの相談を行いました。
3. 自閉症に関する講演会の開催、自閉症啓発デーイベントを開催し、啓発活動を行いました。
4. 会誌の発行を行いました。
5. 健康福祉、特別支援教育行政、他の障害者団体との協力及び連携を行いました。
6. 千葉県の福祉、教育に関わる会議に委員として参加しました。
   障害のある人の相談に関する調整委員会　角口早苗
   障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例推進委員会　大屋滋
   発達障害者支援センター連絡協議会　大屋滋
   障害児教育研究推進会議　大屋滋
   障害者虐待防止連絡協議会　大屋滋
   千葉県社会福祉事業団問題等第三者検証委員会　大屋滋
7. 地区会の協力をいただき、千葉県自閉症協会の運営を行いました。理事会を６回開催し、役員メーリングリストを活用して、迅速な情報と意見交換を行いました。
8. 事業部、Will クラブ事業部、総務部、広報部において、種々の事業を行いました。
9. 社団法人日本自閉症協会からの委託業務を行いました。また、役員、委員として参加しました。
   出版部委員：白水幹久、神成京美
   共済事業 ASJ 互助会給付委員：高橋純子
   共済事業 ASJ 互助会推進委員：矢作貞代
   ASJ ペアレントメンター電話相談員：四家秀治
10. 日本自閉症協会が平成26年4月1日に社団法人から一般社団法人への移行するにあたり協力しました。
11. 他の都道府県の医療・教育・福祉など団体の依頼を受け、講演や研修などの活動を行いました。

各部局活動報告

事務局

1. 地区自閉症協会の活動を支援しました。
   ① 印旛地区自閉症協会による講演会「発達が気になる子へのアプローチⅡ」を後援しました。
   ② 我孫子市自閉症協会による講演会及びパネルディスカッション「自閉症フォーラム in あびこ」を後援しました。
2. 関係団体との連携、協力等を図りました。
   ① 浦安市市民活動団体「アスペルガーの自分取扱説明書」主催講演を後援しました。
   ② 第６回地域づくりフォーラム（主催：地域づくりフォーラム実行委員会）を後援しました。
   ③ 地域生活支援フォーラムちば２０１３（主催：地域生活支援フォーラムちば２０１３実行委員

会）を後援しました。

④ 「千葉県総合支援協議会」委員に大屋会長を推薦しました。

⑤ 「千葉県知的障碍者福祉協会　情報交換会」(4/24）大屋会長が出席しました。

⑥ 「障害者差別をなくす法律・条令を考えるフォーラム　２０１３」(6/16）に出席しました。

⑦ 「平成２５年度研究大会」（主催：千葉県特別支援学校PTA連合会）四家理事が出席しました。

⑧ 「第39回千葉県特別支援教育振興大会・第21回市川市特別支援教育振興大会」(11/22）に協賛団体として参加しました。

※表彰者に安倍陽子氏（千葉県TEACCHプログラム研究会スーパーヴァイザー）を推薦しました。

⑨ 日本自閉症協会より依頼の「成年後見制度の利用促進の在り方」に関する調査に、成壮年自閉症課題研究会が中心となり協力しました。

3. 2013年列車の旅プレゼント実行委員会主催（東日本旅客鉄道労働組合千葉地方本部・東日本旅客鉄道株式会社千葉支社）による「2013年列車の旅プレゼント」(10/5千葉駅発貨物線経由上野駅行、上野動物園散策）に会員9組23名が参加しました。
4. ASC事務所の管理（郵便、ファックス等への対応・整理）をしました。
5. ASJ互助会給付委員会に給付委員、高橋理事が出席しました。

   平成25年度委員会開催日（１２回）

   4/25、5/27、6/25、7/24、8/26、9/24、10/24、11/25、12/25、1/22、2/25、3/26/

   ３月現在加入者：協会3290人、施設1715人、事務局872人、合計5877人
6. ASJペアレントメンター—電話相談員として四家理事が対応しました。

   平成２５年度相談対応日

   4/17、5/15、9/18、10/16、11/20、12/18、1/15、2/19、3/19

総務部

1. 日本自閉症協会「いとしご」「かがやき」直送会員名簿作成と管理、及びそれに伴う千葉県地区自閉症協会との入・退会、訂正受付業務と入会金の管理をしました。
2. 千葉県自閉症協会団体会員・支援会員の入・退会受付と会員への連絡を行いました。
3. 会員・団体の個人情報保護管理の徹底を図りました。
4. 県・国庫補助金申請事務業務を行いました。
5. 日常の金銭出納及び会計帳簿、伝票等諸証書、預金通帳の管理等金銭管理業務を行いました。担当一般・特別会計渡邊政志
6. おやこの旅事業の事務処理と11月23日　日帰り親子遠足（東武博物館・向島百花園見学）を実施しました。

広報部

1. 広報誌「みち」83号を平成25年9月29日に2,400部、「みち」84号を平成26年2月3日に2,400部発行しました。
2. 千葉県自閉症協会講演会の抄録を作成し「みち」に掲載しました。
3. 千葉県自閉症協会のホームページをアップデートし、会の活動、イベントの案内等適時情報を発信しました。
4. 会員用メーリングリストを管理・運営しました。

事業部

1．千葉県自閉症協会講演会

　日　時　：　平成２６年２月２２日（土）１３：３０～１５：３０
　場　所　：　千葉県教育会館　本館６階　６０４会議室
　演　題　：　「発達障害者への就労支援」
　講　師　：　独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
　　　　　　　千葉障害者職業センター
　　　　　　　障害者職業カウンセラー　豊川真貴子　様
　参加者数：　４１名

2．成壮年自閉症課題研究会

◇ 研究懇談会を３回開催しました。(延べ参加者数　58 名)

　6 月 8 日　　「成年後見と家族との関わりについて」社会福祉士朽名高子氏を囲んで
　10 月 12 日　「グループホーム：ケアホームの利用者の親御さんを囲んでの懇談」
　12 月 14 日　「知的障害者のためのライフプラン（親亡き後のために）～ファイナンシャルプランナー若色信悟氏を囲んで」

　なお、2 月は大雪で中止しました。

◇ 毎回、研究懇談会の記録を配信すると共に、会誌「みち」に平成 25 年開催の研究懇談会（５回）の概要報告を掲載致しました。

Will クラブ事業部

1.　定例会　11回
　4/22、5/20、6/17、7/22、9/9、10/28、11/11、12/16、1/20、2/17、3/17
2.　座談会　1回
　7/7（進路報告会）
3.　講演会　1回
　11/16「発達障害を持つ人の生活を楽しくするために」
　　（講師：東京大学先端科学技術研究センター　中邑賢龍先生）
4.　勉強会　2 回
　9/29 成人期・お金のセミナー「親亡き後の支援　～発達障害・精神障害の子を持つ親のために～」
　　（講師： NPO 法人ら･し･さ　若色　信悟氏）
　12/16 お金に関するミニ勉強会　「信託と遺言の基礎知識」
　　（講師：三井信託銀行　小川氏）
5.　余暇支援　19 回
　鉄道部　4/21 大宮鉄道博物館、　8/31　SL 列車に乗ろう
　Ｇ-café　5/26、6/23、7/28、8/11、9/22、10/28、11/24、12/22、1/26、3/2、3/30
　こども体操教室　6/30(講師：NPO 法人くーおん)
　プロムラミング＆コミュニケーションスクール　7/28（講師：ヒューマン･タッチ）
　夏休み理科実験教室　8/19（講師：東京大学ＣＡＳＴ）
　アリスのお茶会　9/15 防災館見学と東京ソラマチ探訪
　レッツゴークラブ　自然観察会　12/22

冬のデイキャンプ　1/12 葛西臨海公園

6. その他

千葉大授業協力　6/12、7/3、7/17

東京学芸大学博士論文協力　Ｇ-cafe の活動を兼ねる

東京学芸大学修士論文協力

世界自閉症啓発デーイベント

千葉県発達障害者支援センターCAS、千葉市発達障害者支援センターと「世界自閉症啓発デーちば実行委員会」を組織して、下記の通り啓発イベントを行いました。

◆事業名：第５回世界自閉症啓発デーin ちば『みんな大切な仲間です』

◆日　時：平成２６年４月５日（土）１１：００～１７：００

◆会　場：千葉市きぼーる１Ｆアトリウム

◆内　容：パネル展示（各地区協会・発達障害者支援センター等の紹介、支援グッズの紹介）

作品展（折り紙・書道・手芸など）

きゃらばん隊いちょう公演『自閉症ってなぁに！』

ミニコンサート

その他（相談コーナー、千葉駅前・きぼーる周辺でのチラシ配布による啓発活動）